

第3章 Java の基本制御構造

Java のその他の制御構造の構文（**if** 文、**for** 文、**while** 文）は基本的には C 言語と全く同じである。制御構造の復習を兼ねて、これらの制御構造を使ったグラフィックスの例題を取り上げる。

3.1 if 文

Java の if 文は C 言語と同じ書き方である。

if (条件式) 文₁

if (条件式) 文₁ else 文₂

条件式が成り立てば文₁を実行する。1 番めの形式は条件式が成り立たなければ何もしない。2 番めの形式は文₂を実行する。文₁, 文₂は、当然ブロック（“{”と“}”で括った文の並び）でも良い。

Q 3.1.1 次のプログラムの断片の出力を書け。

```
1.  1   int n = 2;
    2   if (n <= 1) {
    3       System.out.printf("A");
    4   }
    5   if (n <= 2) {
    6       System.out.printf("B");
    7   }
    8   if (n <= 3) {
    9       System.out.printf("C");
   10   }
```

答: _

```
2.  1   int n = 2;
    2   if (n <= 1) {
    3       System.out.printf("A");
    4   } else if (n <= 2) {
    5       System.out.printf("B");
    6   } else if (n <= 3) {
    7       System.out.printf("C");
    8   }
```

答: _

ここで、条件式の型は **boolean** 型である。既に紹介した Graphics クラスの `draw3DRect` や `fill3DRect` の引数としても用いられていた。C 言語と異なり整数型（**int** 型）とは区別されている。このため（C 言語では OK だった）`while (1) ...` のような文はエラーとなる。

問 3.1.2 **int** 型と **boolean** 型を区別することの長短をまとめよ。

条件判断文としてはこの他に**switch～case 文**もあるが、構文はC言語と同じなので、ここでは説明を割愛する。ただし、文字列などを返す式でも分岐できるなど、C言語よりも拡張されている。

例題 3.1.3 Calendarクラス を使って挨拶を行なう。

java.util.Calendar クラスの使用方法については、API ドキュメントを参照すること。このプログラムでは、日曜日だけ色を赤色に変更し、時間に応じて挨拶文を変えている。

ファイル CalendarTest.java

```
1 import javax.swing.*;
2 import java.awt.*;
3 import java.util.*;
4
5 class CalendarTest extends JPanel {
6     public CalendarTest() {
7         setPreferredSize(new Dimension(250, 100));
8     }
9
10    @Override
11    public void paintComponent(Graphics g) {
12        super.paintComponent(g);
13        Calendar now = Calendar.getInstance();
14        int day = now.get(Calendar.DAY_OF_WEEK);
15        int hour = now.get(Calendar.HOUR_OF_DAY);
16        int min = now.get(Calendar.MINUTE);
17        if (day == Calendar.SUNDAY) {
18            g.setColor(Color.RED);
19            g.drawString("今日は日曜日です.", 30, 25);
20        }
21        if (hour < 12) {
22            g.drawString("おはよう.", 30, 75);
23        } else if (hour < 18) {
24            g.drawString("こんにちは.", 30, 75);
25        } else {
26            g.drawString("こんばんは.", 30, 75);
27        }
28        g.drawString("ただいま " + hour + "時 "
29                    + min + "分です.", 30, 50);
30    }
31 }
32
33 void main() { /* 省略 */ }
```

3.2 文字列 (String) に関する演算子とメソッド

Java では、_____ を用いて String 型と String 型のオブジェクトを[接続する](#)（あるいは、String 型と String 以外の型のオブジェクトを String 型に変換したものを接続する）ことができる。

例:

```
System.out.println("2 + 2は" + (2 + 2));
System.out.println(2 + " * " + 3 + "は" + 2 * 3 + "です");
```

一方、C 言語のような書式指定を行う `printf` や `sprintf` メソッドに相当するメソッドも使用できる。上の `drawString` の場合、`String.format` というクラスメソッドを使って、次のように書くこともできる。

```
g.drawString(String.format("ただいま %d時 %d分です。",
                             hour, min),
              30, 50);
```

C の復習になるが、いくつかの書式指定の例を挙げておく。

書式指定の例	説明
<code>%d</code>	整数 (10進)
<code>%3d</code>	最小で 3 文字、不足分は空白で埋める
<code>%03d</code>	最小で 3 文字、不足分は 0 で埋める
<code>%f</code>	浮動小数点数
<code>%.2f</code>	小数第2位まで表示する

Java の書式指定の詳しい仕様は `String.format` のドキュメントを参照すること。

詳細: この `printf` や `format` のようなメソッドは利用するのは簡単だが、定義するためには、総称クラス (Generics) ・オートボクシング (Autoboxing) ・可変個の引数 (Varargs) など、いろいろな概念を組み合わせる必要がある。このうち総称クラスについては後述する。

可変個の引数を持つメソッドは API のドキュメントでは、

```
public static String format(String format, Object...
args)
```

のように ... を使って表されている。(この `format` メソッドは `java.lang.String` クラスのクラスメソッドである。)

Q 3.2.1 次の中で “1 + 1 は 2。” と出力して改行する式に○を、エラーとなる式に△を、それ以外に×を付けよ。

1. `System.out.println("1 + 1 は + (1 + 1) +。")`
2. `System.out.println("1 + 1 は " + (1 + 1) + "。")`
3. `System.out.println("1 + 1 は " + 1 + 1 + "。")`
4. `System.out.println("1 + 1 は "(1 + 1)".")`
5. `System.out.printf("1 + 1 は %d。 %n", 1 + 1)`
6. `System.out.println(String.format("1 + 1 は %d。", 1 + 1))`

Java 15 からテキスト・ブロック (text block) として知られる、複数行の文字列リテラルを扱えるようになった。テキスト・ブロックは次のように 3 つの二重引用符で囲まれた部分である。

```
String html = """
    <html>
      <body>
        <p class="foo">Hello, world</p>
```

```
        </body>
    </html>
    "";
```

従来の文字列リテラルの記法では、「+」演算子と改行文字 `\n` を使って次のように書く必要があった。

```
String html =
    "<html>\n" +
    "    <body>\n" +
    "        <p class=\"foo\">Hello, world</p>\n" +
    "    </body>\n" +
    "</html>\n";
```

また、テキスト・ブロックの中では、二重引用符「"」も「\"」のようなエスケープをしなくても使用することができる。どのような規則で行頭の空白が除去されるかなど、詳しい仕様は各自でドキュメント (JEP 378, <https://openjdk.org/jeps/378>) を調べてほしい。

3.3 for 文, while 文, do ~ while 文

```
while (条件式1) 文1
for (式1; 式2; 式3) 文1
for (宣言1 式2; 式3) 文1
for (型1 変数1: 式1) 文1
do 文1 while (条件式1);
```

while 文は条件式₁が成り立つ間、文₁の実行を繰り返す。

1 つめと 2 つめの形式の **for** 文はループに入る前に、まず、式₁（または、宣言₁）を評価する。式₂が成り立つ間、文₁、式₃の実行を繰り返す。

3 つめの形式の **for** 文は JDK5.0 で導入されたものである。**for-each** 文と呼ばれることもある。（ただし、`each` というキーワードを使うわけではないので注意する。）この場合、式₁は直感的には何かの集まりを表すデータ型（配列など—正確には配列またはインタフェース `Iterable` を実装するクラス）でなければならない。コロンの(:)の前で宣言された変数₁に、この列の要素が順に代入され、文の実行が繰り返される。この形式の **for** 文の使用例はもう少し後で紹介する。

繰り返し文としてはこの他に **do ~ while** 文もあるが、C 言語と同じなのでここでは説明を割愛する。

変数への代入はCと同様 _____ を使う。

Q 3.3.1 次のプログラムの断片の出力を書け。

```
1  int i;
2  for (i = 0; i < 4; i++) {
3      System.out.printf("%*d", i);
4  }
5  System.out.printf("|%d", i);
```

答: _____

例題 3.3.2 正多角形の描画

正 n 角形を描画する。

ファイル N_gon.java

```
1 import javax.swing.*;
2 import java.awt.*;
3 import static java.lang.Math.*;
4
5 class N_gon extends JPanel {
6     public N_gon() {
7         setPreferredSize(new Dimension(220, 220));
8     }
9
10    @Override
11    public void paintComponent(Graphics g) {
12        super.paintComponent(g);
13
14        int np = 7;
15        int sc = 100;
16
17        int i;
18        double theta1, theta2;
19        for (i = 0; i < np; i++) {
20            // 単位 ラジアン
21            // 360 * i / np 度
22            theta1 = PI * 2 * i / np;
23            // 360 * (i + 1) / np 度
24            theta2 = PI * 2 * (i + 1) / np;
25            g.drawLine(
26                (int) (sc * (1.1 + cos(theta1))),
27                (int) (sc * (1.1 + sin(theta1))),
28                (int) (sc * (1.1 + cos(theta2))),
29                (int) (sc * (1.1 + sin(theta2))));
30        }
31    }
32 }
33
34 void main() { /* 省略 */ }
```

Math.PI は円周率 π ($\approx 3.1415\dots$)、Math.sin, Math.cos は正弦、余弦関数である。これらはクラスフィールド、クラスメソッドである。上のプログラムでは static import しているので、プログラム中では単に PI, sin, cos で使用している。

二次関数のグラフの描画

数学関数のグラフを描くには、定義域を細かい区間に区切り、短い線分をつなぎ合わせれば良い。

ファイル Parabola.java

```
1 import java.awt.*;
2 import javax.swing.*;
3
4 class Parabola extends JPanel {
5     public Parabola() {
6         setPreferredSize(new Dimension(200, 200));
7     };
8 }
9
10 @Override
11 public void paintComponent(Graphics g) {
12     super.paintComponent(g);
13     double a = -0.0025, b = 1, c = 0;
14     for (int x0 = 0; x0 < 200; x0 += 10) {
```

```

15         double y0 = a * x0 * x0 + b * x0 + c;
16         int x1 = x0 + 10;
17         double y1 = a * x1 * x1 + b * x1 + c;
18         g.drawLine(x0, (int) y0, x1, (int) y1);
19         System.out.printf("(%d,%.1f)--(%d,%.1f)",
20                             x0, y0, x1, y1);
21     }
22 }
23 }
24
25 void main() { /* 省略 */ }

```

問 3.3.4 $y = ax^2$, $y = \sin(x)$, $y = \cos(x)$ などの数学関数のグラフを描く GUI アプリケーションを書け。

参考:

<https://docs.oracle.com/javase/jp/25/docs/api/java.base/java/lang/Math.html>

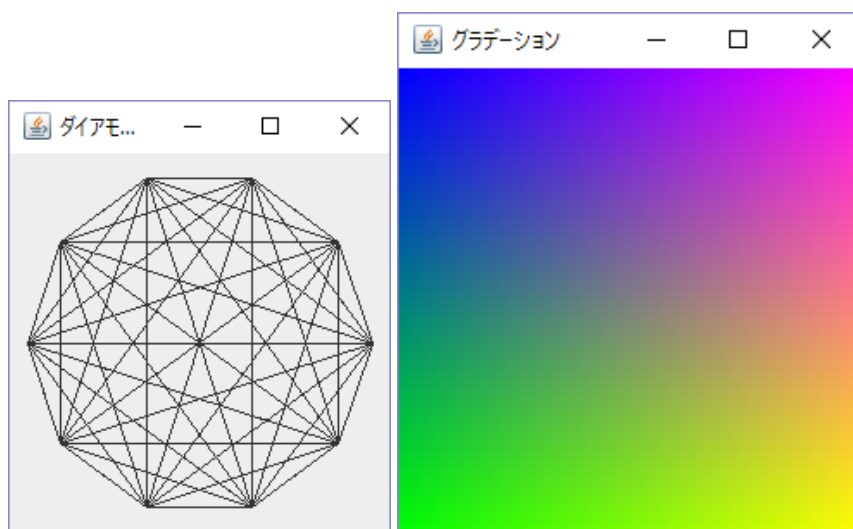
問 3.3.5 媒介変数で表される式:

$$\begin{cases} x = \cos(3t) \\ y = \sin(4(t + 2.4)) \end{cases}$$

のグラフを描く GUI アプリケーションを書け。

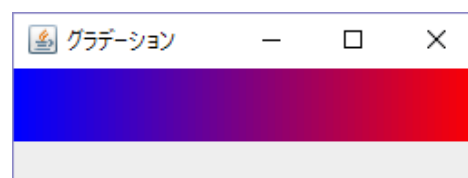
問 3.3.6 正 n 角形のすべての頂点を結んでできる図形（ダイヤモンドパターン）を描画する GUI アプリケーションを書け。

問 3.3.7 色のグラデーション（2 次元 — 縦方向と横方向が別の色に変わる）を作成する GUI アプリケーションを書け。



ダイヤモンドパターン

2 次元のグラデーション



(参考) 1 次元のグラデーション

(参考)

1次元のグラデーション

ファイル Gradation1.java

```
1 import javax.swing.*;
2 import java.awt.*;
3
4 class Gradation1 extends JPanel {
5     public Gradation1() {
6         setPreferredSize(new Dimension(256, 40));
7     }
8
9     @Override
10    public void paintComponent(Graphics g) {
11        super.paintComponent(g);
12        int scale = 4;
13        int i;
14
15        for (i = 0; i < 64; i++) {
16            g.setColor(new Color(i * 4, 0, 255 - i * 4));
17            g.fillRect(i * scale, 0, scale, scale * 10);
18        }
19    }
20 }
21
22 void main() { /* 省略 */ }
```

例題 3.3.8 棒グラフの描画



整数のデータを与え、そのデータの棒グラフを描く。

ファイル Graph.java

```
1 import java.awt.*;
2 import javax.swing.*;
3
4 class Graph extends JPanel {
5     public Graph() {
6         setPreferredSize(new Dimension(200, 105));
7     }
8
9     @Override
10    public void paintComponent(Graphics g) {
11        super.paintComponent(g);
12        int[] is = {10, 4, 6, 2, 9, 1};
13        Color[] cs = {Color.RED, Color.BLUE};
14        int scale = 15;
15        int i, n = is.length;
16
17        for (i = 0; i < n; i++) {
18            g.setColor(cs[i % cs.length]);
19            g.fillRect(0, i * scale, is[i] * scale, scale);
20        }
21    }
22 }
23
24 void main() { /* 省略 */ }
```

配列オブジェクトの _____ というフィールド(?) によって配列の大きさ（要素数）を知ることができる。これもC言語と異なる点である。for文の中のブロッ

クは変数 i が $0 \sim n - 1$ まで変化する間、繰り返される。

Q 3.3.9 `ds` という `double` 型の配列があったとき、`ds` の要素の平均値を求めるメソッドを定義する。2 箇所の空欄を同じ内容で埋めて定義を完成せよ。

```
1 static double average(double[] ds) {
2     double n = 0
3     int i;
4     for (i = 0; i < _____; i++) {
5         n += ds[i];
6     }
7     return n / _____;
8 }
```

答: _____

C 言語では、配列の範囲外をアクセスしても通常エラーにならないが、Java では `ArrayIndexOutOfBoundsException` という例外が発生する。例外については次章で詳しく説明する。

Q 3.3.10 次のプログラムを実行して、エラーメッセージを確認せよ。

ファイル `ArrayIndexOutOfBoundsExceptionTest.java`

```
1 void main() {
2     int[] a = { 1, 2, 3 };
3     for (int i = 0; i <= a.length; i++) {
4         System.out.println(a[i]);
5     }
6 }
```

また、次の C 版も実行してみよ。

ファイル `ArrayIndexOutOfBoundsExceptionTest.c`

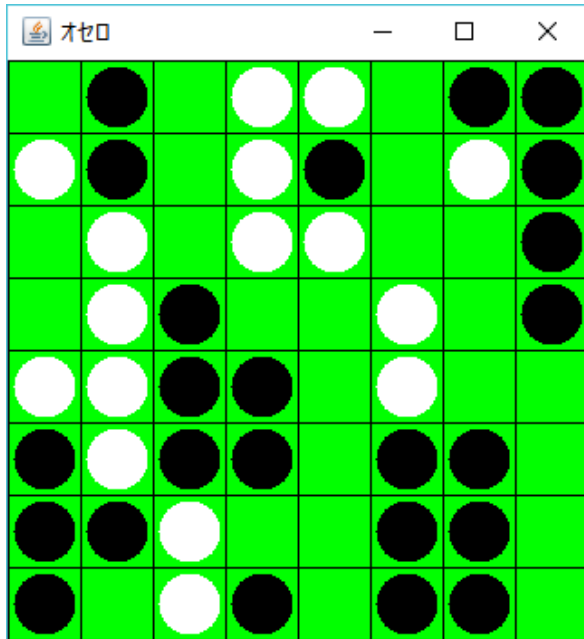
```
1 #include <stdio.h>
2
3 int main(void) {
4     int a[] = {1, 2, 3};
5     int i, n = sizeof(a) / sizeof(a[0]);
6     for (i = 0; i <= n; i++) {
7         printf("%d\n", a[i]);
8     }
9
10    return 0;
11 }
```

3.4 多次元配列

例題 3.4.1 `int` 型の 8×8 の大きさの配列の配列を調べて、1 なら白丸、2 ならば黒丸を画面上の対応する位置に描画する。

ファイル `Othello.java`

```
1 import javax.swing.*;
2 import java.awt.*;
3
4 class Othello extends JPanel {
5     private final int scale = 40;
6     private final int space = 3;
7
8     public Othello() {
9         setPreferredSize(new Dimension(scale * 8 + 1,
10                                         scale * 8 + 1));
11     }
12
13     @Override
14     public void paintComponent(Graphics g) {
15         super.paintComponent(g);
16
17         int[][] state = {
18             {0,1,0,0,1,2,2,2}, {2,2,1,1,1,1,2,0},
19             {0,0,0,2,2,2,1,1}, {1,1,1,0,2,2,0,2},
20             {1,2,1,0,0,0,0,0}, {0,0,0,1,1,2,2,2},
21             {2,1,0,0,0,2,2,2}, {2,2,2,2,0,0,0,0}};
22         int i, j;
23
24         for (i = 0; i < 8; i++) {
25             for (j = 0; j < 8; j++) {
26                 g.setColor(Color.GREEN);
27                 g.fillRect(i * scale, j * scale,
28                           scale, scale);
29                 g.setColor(Color.BLACK);
30                 g.drawRect(i * scale, j * scale,
31                           scale, scale);
32                 if (state[i][j] == 1) {
33                     g.setColor(Color.WHITE);
34                     g.fillOval(i * scale + space,
35                               j * scale + space,
36                               scale - space * 2,
37                               scale - space * 2);
38                 } else if (state[i][j] == 2) {
39                     g.setColor(Color.BLACK);
40                     g.fillOval(i * scale + space,
41                               j * scale + space,
42                               scale - space * 2,
43                               scale - space * 2);
44                 }
45             }
46         }
47     }
48 }
49
50 void main() { /* 省略 */ }
```



2次元配列（配列の配列）を宣言するには、上のように `[]` を2つ重ねる（3次元以上も同様）。C言語と異なり、要素数を宣言する必要はない。（ただし、C言語でも最初の次元の要素数は省略することができる。つまり `int state[][8] = { ... };` のように書ける。） `state` は配列の配列で、例えば、`state[0][1]` は、0番めの配列 `{0,1,0,0,1,2,2,2}` の1番めの数だから `_` が入っている部分である。つまりこの位置（0列めの1行め）には白丸が描画される。

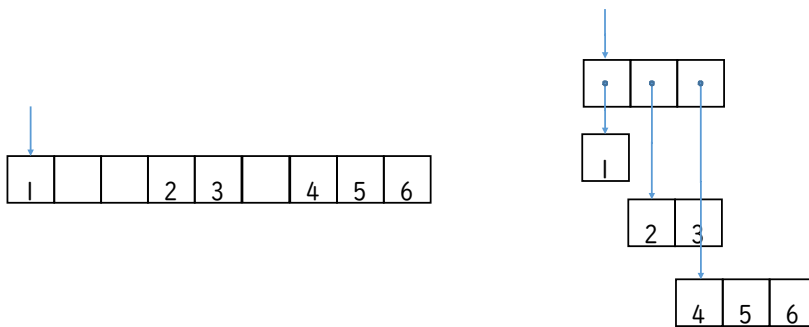
注意: Javaではメモリー上の配置を意識する必要はほとんどないが、Javaの2次元配列とCの2次元配列はメモリー上の配置の仕方が異なる。このためJavaではCではメモリーの効率が悪い次のような2次元配列（異なるサイズの配列が混在している）

```
int[][] xss = {{1}, {2, 3}, {4, 5, 6}};
```

も使用できる。（Cだと

```
int xss[][3] = {{1}, {2, 3}, {4, 5, 6}};
```

と宣言する必要がある。）



C 言語の場合

Java の場合

Q 3.4.2 `int[][] xss = {{1}, {2, 3}, {4, 5, 6}};` のとき次の式の値を答えよ。範囲外でエラーになるときは × を書け。

1. `xss[1][1]` 答:
2. `xss[0][1]` 答:
3. `xss[2][1]` 答:
4. `xss.length` 答:
5. `xss[1].length` 答:

なお、文字列型の `String` は Java では配列ではないので、文字列の配列は（二次元配列 `char[][]` ではなく）`String[]` 型である。

```
String[] colors = {
    "white", "red", "green", "yellow",
    "blue", "magenta", "cyan", "white"
};
```

キーワード

`if` 文, `if ~ else` 文, `while` 文, `for` 文, `for-each` 文, 配列, `length` フィールド, `ArrayIndexOutOfBoundsException` 例外, `static`, `Math` クラス, 多次元配列,